

**施策の評価**

<b>施策の柱</b>	<b>柱①</b>	<b>学校・学級改革 ～児童生徒の基礎学力の定着と学力の向上～</b>
-------------	-----------	-------------------------------------

**1. 施策の主要目標の達成度**

施策の主要目標	目標達成度	判断理由																								
<p>① 学習習慣を確立させ、学習内容の確実な定着を図る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">                     目標達成のための主な手段 事業 1, 2, 3, 4, 5, 7, 8, 9                 </div>	<b>B</b>	<p>平成 19 年度、本県中学生の授業以外に「全く勉強しない」と回答した児童生徒の割合は、全国平均を大きく上回っており、家庭学習習慣の確立について深刻な課題があった。高知市への補助事業「学習習慣確立のための緊急支援事業」の取組やその成果の普及を通して、年々本県中学生の家庭学習の状況は改善してきている。</p> <p>【中学生（3年生）の家庭学習の状況】</p> <p>授業以外に「全く勉強しない」と回答した児童生徒の割合</p> <p style="text-align: right;">全国学力・学習状況調査（％）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高知市</td> <td>17.8</td> <td>15.8</td> <td>9.5</td> <td>9.4</td> <td>4.6</td> </tr> <tr> <td>高知県</td> <td>11.5</td> <td>10.6</td> <td>7.8</td> <td>7.1</td> <td>5.3</td> </tr> <tr> <td>全国</td> <td>8.4</td> <td>7.7</td> <td>7.7</td> <td>7.1</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>		H19	H20	H21	H22	H23	高知市	17.8	15.8	9.5	9.4	4.6	高知県	11.5	10.6	7.8	7.1	5.3	全国	8.4	7.7	7.7	7.1	—
	H19	H20	H21	H22	H23																					
高知市	17.8	15.8	9.5	9.4	4.6																					
高知県	11.5	10.6	7.8	7.1	5.3																					
全国	8.4	7.7	7.7	7.1	—																					
<p>② 学力向上に向けて、学校が組織的に取り組むための PDCA サイクルを確立させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">                     目標達成のための主な手段 事業 9                 </div>	<b>C</b>	<p>重点支援校（学力向上対策に意欲的に取り組む中学校を指定、平成 23 年度は 36 校）に年間 8 回以上、重点支援校以外に年間 2 回以上を目安に、各校の学力向上対策の成果が上がるように、学校訪問（年間延べ 485 回）を通じて指導を行ってきた。</p> <p>小学校においては、年度末の学校改善プラン検証シートにおける C 評価の割合も減少してきていることから、学力向上の PDCA サイクルは確立されてきている。</p> <p>中学校においては、年度末の学校改善プラン検証シートにおける C 評価の割合が平成 22 年年度から増加してきている。この理由としては、自校評価の基準が上がったこと、生徒の実態に応じた適切な数値目標が設定されていなかったことなどが考えられる。</p> <p>【学校改善プラン検証シートにおける C 評価の割合】（％）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>15</td> <td>11</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>18</td> <td>13</td> <td>18</td> </tr> </tbody> </table>		H21	H22	H23	小学校	15	11	5	中学校	18	13	18												
	H21	H22	H23																							
小学校	15	11	5																							
中学校	18	13	18																							
<p>③ 指定校、推進地域における取組を広く普及する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">                     目標達成のための主な手段 事業 6                 </div>	<b>B</b>	<p>◆全国学力・学習状況調査の結果、小学校で学力の向上が見られた。全国平均正答率を上回った学校が小学校で特に多い。</p> <p>【全国平均正答率を上回った学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校（10 校）国語 A:8 校 国語 B:8 校 算数 A:7 校 算数 B:7 校</li> <li>・中学校（4 校）国語 A:1 校 国語 B:1 校 数学 A:1 校 数学 B:1 校</li> </ul> <p>◆全ての指定校で成果を普及するための研究発表会を実施し、参加者から肯定的な評価を得た。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・肯定的評価 94.1%</li> </ul> <p>◆授業力総合診断シートの結果、指定校全体の授業力が向上し、教員研修拠点校づくりが進んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業力総合診断シート指定校平均値 4 点満点中 3.24（1 回目 3.17 2 回目 3.31）</li> </ul>																								

**2. 施策を構成する個別事業・取組の評価結果**

	個別事業・取組	目標達成度	検討項目	総合評価
1	外国語教育推進プラン	C	ウ、エ	小学校においては、具体的な事業目標を設定し、モデルプランを活用しながら授業力の向上を図る必要がある。中学校においてはライティングシートの活用の徹底が必要である。
2	理科教育推進プロジェクト	C	エ	GST 受講者の理科教育力は着実に向上しているが、理科思考力問題集の全ての小・中学校で活用を徹底していく必要がある。
3	国語学力定着事業	C	エ	国語学習シートの使用実績の割合は伸びている一方、各学校での取組にばらつきがあり、授業改善につなげるための活用に至っていない学校も見られる。
4	算数・数学学力定着事業	C	エ	算数・数学の学力の状況は、着実に改善傾向にあるが、中学校においては、授業力の向上に課題が見られるため、各種研修会の内容の充実が必要である。
5	学習習慣確立のための緊急支援事業	B	オ	授業以外で学習を「全くしない」と答えた生徒の割合は全ての学年で着実に減少しており、高知市中学生の学習習慣は確立されつつある。
6	新教育課程拠点校指定事業	B		拠点校においては、教員の授業力が着実に向上しており、研究発表会の参加者数の増加や評価表の結果からも、拠点校の成果が着実に普及されている。
7	中学校学力向上対策非常勤講師配置事業	B		本事業を各学校が効果的に活用し、教員が子どもと向き合う時間を拡充させることができた。また、授業以外での学習時間も全国水準にまで改善している。
8	教科指導エキスパート派遣事業	B		派遣先の各学校で各教員への適切な助言により、指導を受けた教員の授業改善や教材研究、教材活用の工夫などで成果があった。
9	学校改善プラン実践支援事業	C	ウ、エ	学力向上における各校の PDCA サイクルが確立されてきたこともあり、本県の児童生徒の学力は着実に伸びてきている。

**3. 施策の総合評価と今後の方向**

総合評価	<b>B</b>	各学校において、学力向上における各校の PDCA サイクルが確立されてきたこともあり、本県の児童生徒の学力は着実に伸びてきている。今後は身に付いた基礎的・基本的な知識・技能を活用して思考・判断・表現する力や学習意欲の維持・向上を図ることなど、確かな学力の定着に向けた取組を進める必要がある。
今後の方向		<ul style="list-style-type: none"> <li>◆次年度からの学校改善プランについては、知・徳・体の調和のとれた児童生徒の育成を目指した「学校改善プラン」として再構築し、学校経営力の向上を図る。</li> <li>また、中学校学力向上プロジェクト校（17 校）に対して、これまで以上にきめ細やかな支援を重ね、確かな学力の定着を目指す。</li> <li>◆県独自の学力調査「高知県学力定着状況調査」を作成・実施し、これまでの学力の課題を検証・改善していく。</li> <li>◆学校支援訪問を通して各指定校の取組の進捗管理と指導を定期的に行い、教員研修の拠点校づくりを継続していくとともに、研究発表会や授業公開を促し、その取組を県内の他の学校に普及する。</li> <li>◆これまでに作成・配付している各教科の学習シートの活用について、活用事例集などを用いながら更なる徹底を図る。</li> </ul>